

Study Plan6 政策立案

今回のスタディプランでは、政策立案について説明します。以前のスタディプラン「リサーチとは」の中で、政策とは議題に対する担当国の理想と現実のギャップを埋める手段だと説明しました。今回は、もう少し掘り下げて説明します。

1. 政策とは

「政策」とは、一言で言えば「言いたいこと」です。大使であるみなさんは、今回の会議に出席したからには、担当国の立場から議題に対する利益を得る必要があります。利益を得るということは、議題に対する担当国の理想と現実のギャップを埋めて、少しでも現実を理想に近づけることです。理想と現実を埋めるための手段が、政策ということになります。従って政策は、会議においてあなたの国の「言いたいこと」になります。

2. 政策立案

政策を立てることが、政策立案です。繰り返しですが、政策は理想と現実のギャップを埋める手段です。従って政策立案は、まず理想と現実をしっかりと認識することから始まります。しっかりと認識するには、事実だけではなく、その事実の裏側にある原因も考える必要があります。

今回の会議を例にとると、大まかには地雷を必要とする国と廃絶を目指す国、あるいは地雷の被害を受ける国と被害国に対して援助する国があると思われます。まず、担当国はどのような状況なのか、そしてなぜ現在の状況になったのかを考えます。

次に、現在行なわれている担当国の地雷問題の対策の現実を認識します。現状の対策はどのような成果が出ていて、どのような点に問題点があるのかという点を見極めます。過去の国連決議、あるいは実際に現地で支援を行なっている NGO(ICBL など)の HP を確認してみましょう。

この流れを通して、担当国と現状に対して行なわれている対策の現状を認識します。そして問題の所在を明確にします。その上で、政策と政策を支える理由を考えます。

政策は 3 つ程度用意したほうがよいでしょう。複数用意した上で、優先順位を決めます。なぜならば、会議が始まってから主張が受け入れられないことがわかった時、あるいは会議の流れが予想しなかった方向に向かい、主張が会議の流れに合わなくなった時に、政策を 1 つしか用意していないと、会議で行動できなくなってしまうからです。

もちろん、他国に納得してもらえるように政策の裏付けをしっかりと考えることや、会議

の流れを事前に予測することは重要です。しかし、会議が事前に思い描いていたように動かなかったときの対策はきちんと用意する必要があります。不測の事態に対する最も良い対策が、政策を複数用意することです。

3. 政策を実現するために

どれほどしっかりとした政策立案を行なっても、会議で実現される、つまり決議として公式に会議の成果文書として残らなければ意味がありません。

3.1. 理由を考える

政策立案するときは、なぜその政策を立案するのかということを中心に他国に説明できるように考える必要があります。ポイントは、他国にとっても自国の政策がプラスになるということができる限り説明することです。もちろんすべての自国の政策が、他国にとってもプラスになることを説明することはできません。しかし、自国だけでなく他国にとってもプラスになることを示せば、その政策は支持を広げることができます。最終的に、多くの賛成を得て決議として採択される可能性も上がります。

また、理由を考えれば、どこまで妥協できるかを明確にできます。なぜならば、その政策で達成したい目的が明確になるからです。目的が明確になれば、どこまでの妥協であれば、その目的を達成できるかがはっきりします。そうすれば、妥協できる点と譲れない点(これをボトムラインといいます)も自然と明確になります。その結果、他国との交渉を生産的に行なうことができるでしょう。

3.2. ペアーデリゲイツを活かす

今回の会議は2人で1つの国を担当するペアーデリゲイツ制度です。事前に2人の役割分担を決めておけば、有意義に時間を使うことができるでしょう。会議中も連絡を密に取ることを心がけてください。

3.3. 時間を考える

会議の時間は有限です。DR や修正案(次回のスタディプランで詳しく説明します)の締め切り時刻も決まっています。従って、締め切り時刻から逆算して、いつまでに何をすればよいのかということを常に考える必要があります。目的意識をはっきりとして会議に臨まないで、その他の大使に流されてしまい、時間だけが過ぎることになります。まずは、修正案締め切り時刻から逆算して大枠を考えて、徐々に細かく設定していきましょう。

もちろん議場の流れに合わせて、タイムスケジュールを変更することも必要です。しかし、基本的には議場では微調整だけするという意識を持ちましょう。そうしないと、議場の流

れに流されてしまいます。会議が終わったときに、政策を何も実現できなかったということがないように気をつけましょう。

以上で今回のスタディプランは終了です。確かに政策立案は難しいと思います。しかし、言いたいことがあると会議をより楽しむことができるので、がんばってみましょう。次回のスタディプランでは、決議の説明をします。

文責：JCGC